

府中日鋼町地区熱供給センター

建物諸元(2017年11月現在)

所在	東京都府中市日鋼町 1-1
主用途	熱供給施設
敷地面積	-
延床面積	約 288,000 m ² (供給延床面積)
階数	-
竣工年月	1992年4月
事業者・所有者	東京都市サービス株式会社
設計会社	-
施工会社	-
管理会社	東京都市サービス株式会社
URL	http://www.tts-kk.co.jp/
テナント数	-

主な評価項目

I 一般管理事項

定期的なCO2削減推進会議を開催し、継続的にCO2削減対策を立案・実施。

II 建物、設備性能に関する事項

高効率ヒートポンプの採用
温度成層型蓄熱槽の採用
各種ポンプのインバータ制御・高効率モータの採用
高効率照明機器の採用

III 運用に関する事項

運転実績データを基に機器の効率分析を行い、適切な保守・運転管理を実施。

事業所の概要

21世紀の高度情報化に対応した郊外型新業務拠点として計画され、大手金融機関等が進出しています。

熱供給に高い信頼性が要求され、これを担保するための様々な方策が講じられています。また、省エネルギー、都市エネルギーの平準化、ビル排熱の活用といった今日的課題にも積極的に対応できるシステムとなっております。

事業所における環境負荷低減の取組

1. 蓄熱式ヒートポンプシステム

(1) 電力の負荷平準化

夜間電力を利用して製造した熱を蓄熱槽に蓄熱し、昼間に供給することで、電力負荷の大きい昼間の時間帯の熱源機の運転を軽減しています。

(2) 熱源機の高効率運転

蓄熱槽の活用により、熱源機を定格運転する事で高効率な運転を行っています。

2. 熱回収ヒートポンプ

(1) ビル排熱の活用

ビル排熱である冷房排熱を暖房熱源として冷熱と温熱の同時取出しを行うことができる最も効率の良い熱回収ヒートポンプの運転を行っています。

3. 東京都の「低炭素熱」供給事業者

(1) 都内トップの低炭素熱を供給

東京都の「大規模事業所に対する温室効果ガス排出総量削減義務と排出量取引制度」において、「低炭素熱」の熱供給事業者(区域)に認定され、CO₂排出係数は 0.036t-CO₂/GJ とデフォルト値(0.058t-CO₂/GJ)と比較して約38%減となり、都内で最も低炭素な熱を供給しています。(2017年度東京都公表値)

事業所外観写真

